



認証番号 0006871

環境活動レポート 【2016年度版】



第一化学工業株式会社

対象期間：2016年1月～12月

発行日：2017年3月23日

はじめに

我社は、創業 54 年の硬質クロムめっき専門の企業になります。みなさまに、少しでも「めっき」の事に興味を持って頂きたく本日は【めっきの歴史】について簡単に書かせていただきます。

「めっき」は、紀元前 1500 年（3500 年前）メソポタミア北部（現在のイラク）アイリッシュで腐食防止の為に錫（すず）めっきが行われていたとの記録があります。わが国では 1400 年前に中国から仏教が伝わったとき、「めっき」技術が伝わり馬具などに「めっき」が施される様になりました。

752 年に完成した奈良の東大寺の大仏は当時最先端の技術である金めっきが施され黄金に輝く大仏を目にした当時の人は仰天した事でしょう。

奈良の大仏は、銅を流し込んで鋳造が終わった大仏に、金めっきが施されていました。金 375 kg、水銀 2220 kg、2 t 以上にもなります。

金めっきの方法は・・・金を水銀で溶かす→アマルガム（銀色の液体）になる→大仏に塗る→火で焙る→銀が溶ける→金だけが残る

当時、焙るのには炭が多く使用され巨大な大仏を焙る為の作業にあたった人たちは大変だったと思います。

大仏は何度か作り直されているので、その時代ごとで使用した材料の量は違うそうです。



目 次

はじめに

事業の概要	2
環境経営システムの組織図・エコアクション21 組織役割	3
環境方針	4
環境目標・中長期	5
今年度の環境目標と実績	8
環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	8
環境目標と実績・環境活動計画と取組結果の評価・次年度取組内容	9
代表者による全体の評価と見直し	18
第一化学工業株式会社主な取り組み・環境活動	19

事業の概要



事業所名及び代表者氏名

第一化学工業株式会社

代表取締役社長 泉 三弘

*所在地・連絡先

〒115-0051

東京都北区浮間5-7-9

TEL : 03-3966-2476

FAX : 03-3966-2494

E メール : info@daiichi-kagaku.com



こちらは、第一化学工業(株)の社屋です。近隣や環境に配慮した工場で、よくめっき工場には思えない。と言われております。

*環境管理責任者氏名及び担当者

【環境管理責任者】代表取締役社長：泉 三弘

【EA21事務局】総務部部長環境管理課 加藤 せつ子

【省エネ・園芸部リーダー】総務部 関根 めぐみ

【化学物質使用量削減リーダー】製造部めっき課部長 鎌田 治郎

【廃棄物削減リーダー】製造部研磨課係長 神戸 等

【節水・製品不良率削減リーダー】製造部検査課課長 鈴木 愛芳

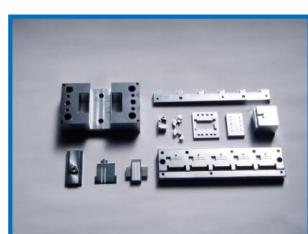
【グリーン購入・環境配慮製品の使用リーダー】総務部 関根 めぐみ



事業活動の内容

表面処理業（硬質クロムめっき業）

主要商品 精密機器部品・自動組立機部品・医療機器部品・充填機部品・治工具など



わが社が手掛ける製品の一部です。仕上がりに高い評価を頂いています。



事業の規模

	単位	2014 年度 (2014 年 1 月～2014 年 12 月)	2015 年度 (2015 年 1 月～2015 年 12 月)	2016 年度 (2016 年 1 月～2016 年 12 月)
主要製品の出荷額	百万円	123	143	160
従業員数	人	17	17	17
敷地面積	m ²	239.04	239.04	239.04
延べ床面積	m ²	267.93	267.93	267.93
作業場面積	m ²	121.85	121.85	121.85

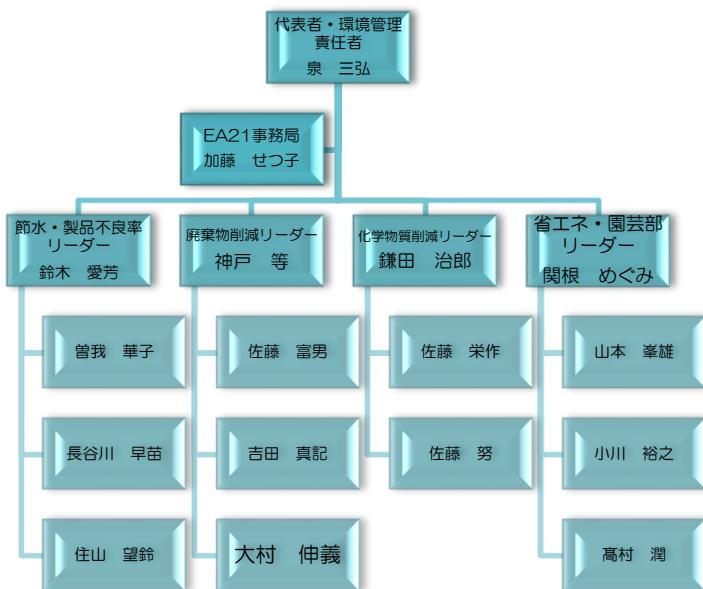


対象範囲

- 組織の概要に記載した全組織・全活動・全従業員を対象に活動しています。

環境経営システム組織図

エコアクション21 組織役割



役割・責任・権限	
代表者・環境管理責任者 泉 三弘	1.環境経営に関する統括責任者 2.代表者による全体の評価と見直しを実施 3.環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 4.エコアクション21 取組における全責任・権限
エコアクション21 事務局 加藤 せつ子	1.エコアクション21 推進の事務局 2.環境目標・環境活動計画書・実績表の作成 3.環境関連の外部コミュニケーションの窓口 4.環境活動レポートの作成 5.全社の環境関連の掲示物等の作成・掲示 6.各リーダーへの提案・相談の窓口 7.各手順書の見直し・作成など外部提出書類の作成全般 8.環境関連書類の保管
各リーダー 関根 めぐみ・神戸 等 鈴木 愛芳・鎌田 治郎	1.各担当チームのテーマ推進 2.各チームにおける環境経営システムの実施 3.環境目標及び環境活動計画の実施、その達成状況の報告 4.環境活動におけるチェックリストの記録・運用管理 5.各チームの問題点の発見・是正・予防処置 6.各手順書の見直し・提案
全従業員	1.環境方針を理解し、環境への取組の重要性を自覚 2.環境経営システムへの参加 3.環境関連全般においての提案 4.緊急事態訓練・社内講習の参加 5.外部講習・環境セミナーへの参加・報告レポート提出

第一化学工業株式会社 環 境 方 針

<企業理念>

第一化学工業株式会社は、表面処理事業(硬質クロムめつき)を通して、社会に貢献する企業としての事業活動(二酸化炭素排出量削減に努め・地球にやさしい製品づくり)を行い、エコアクション21環境経営システムを基本理念として環境関連法規を順守し、地球環境を護る企業を目指します。

<行動指針>

1. こまめな節電・省エネルギー化を進め、二酸化炭素排出量を削減して、地球温暖化の防止に努めます。
2. 廃棄物の削減・ゴミの分別を行い、資源のリサイクル推進に努めます。
3. 節水を心掛け、総排水量削減に努めます。
4. 化学物質の徹底管理に努めます。
5. ガソリンの使用量を削減するため、極力公共の交通機関を利用するよう努めます。
6. 事務用品を吟味し、グリーン購入の推進に努めます。
7. 製品不良率の低減に努めます。

社内の要所に環境方針を掲示して、全従業員がエコアクション21環境経営システムの完徹を目指します。

2016年4月6日

第一化学工業株式会社

代表取締役社長 泉 三弘

環境目標（中長期）

環境負荷項目／年度	基準年度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	二酸化炭素排出量(kg-CO2 年)電気	96,532	91,705	86,879	82,052	77,226
	2014 年度基準 (%)	100%	95%	90%	85%	80%
	二酸化炭素排出量(kg-CO2 年)ガソリン	5,741	5,511	5,454	5,397	5,340
	2014 年度基準 (%)	100%	96%	95%	94%	93%
	廃棄物排出量(t /年)	5.59	3.07	2.83	2.7	2.64
	2014 年度基準 (%)	100%	55%	51%	48%	47%
	特別管理産業廃棄物排出量(t /年)	60.67	57,637	54,603	51,57	50,356
	2014 年度基準 (%)	100%	95%	90%	85%	83%
	水道水使用量(m³/年)	1,015	964	914	863	842
	2014 年度基準 (%)	100%	95%	90%	85%	83%
	化学物質使用量実績(kg/年)	1,305	1,229			
	徹底管理	○	○	○		
	グリーン購入(品目/年)	29	36	38	39	41
	2014 年度基準 (%)	100%	125%	130%	135%	140%
	環境配慮製品の購入(品目/年)	18	19	19	20	21
	2014 年度基準 (%)	100%	105%	105%	111%	117%
	製品不良率削減(%/年処理全体)	2.91	2.9	2.9	2.9	2.8
	2014 年度基準 (%)	100%	99%	99%	99%	98%
						97%

*CO2 排出係数は、平成 26 年度(2014 年)東京電力(株)の実排出係数 0.505 kg-CO2/kwh を使用した。

*特別管理産業廃棄物は、処理委託・クロム酸廃液・アルカリ廃液の総計です。

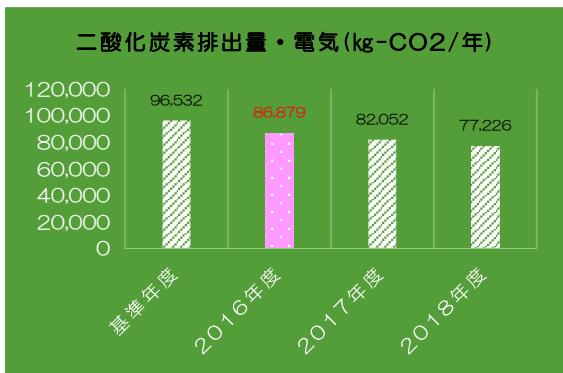
*化学物質は、無水クロム酸・HEEF25R・HEEF25MS・クロム 500 溶液・ディップソールの総計です。



我社の最寄駅の浮間舟渡駅前には、風車をシンボルとした浮間公園があり四季折々の花々が楽しめます。また、大きな池には釣りを楽しむ人や、水鳥・亀も気持ち良さそうに泳ぐ姿が見受けられます。



環境目標（中長期）



二酸化炭素排出量削減(電気)の活動計画

- *現場の使用状況に応じたスクラバーの使用。
- *給湯器の夜間・休日は停止。
- *空調機のフィルター定期清掃・交換を行う。
- *ドライヤーの無駄な使用をしない。
- *照明器具の清掃（年2回）。
- *グリーンカーテンの栽培。



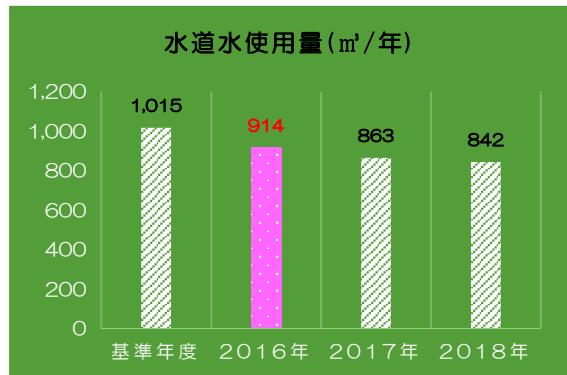
二酸化炭素排出量削減(ガソリン)の活動計画

- *公共交通機関を進んで使用する。
- *急発進・急加速・急停止の防止を徹底する。
- *アイドリングストップの徹底。
- *営業活動は訪問先を考え効率よく移動する。
- *タイヤの空気圧の定期的確認と適正值保持。



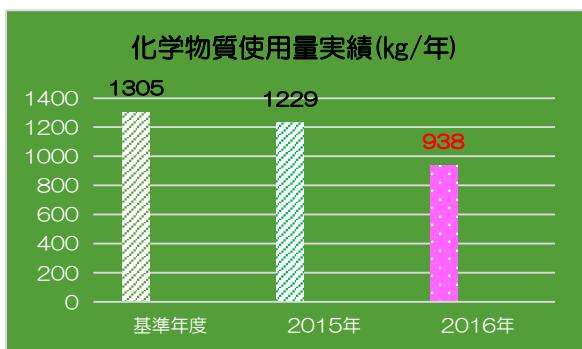
特別管理・廃棄物排出量削減の活動計画

- *各個人が責任を持って分別の徹底を行う。
- *リサイクル出来る物を見直し廃棄物を削減する。
- *4S（整理・整頓・清潔・清掃）の実施。
- *分別した廃棄物を極力小さくする。
- *使用出来る物は極力限界まで使用する。
- *廃棄物管理票(マニフェスト)を基にした適切な処理の徹底。



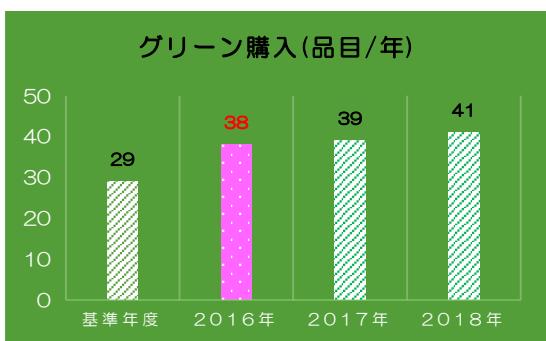
水道水使用量削減の活動計画

- *洗濯洗剤は、すすぎ1回用を使用する。
- *蛇口の水を出しすぎないように使用する。
- *無駄使いをしている人を見かけたら声を掛け、注意する。
- *トイレ使用時、小便は小で流す。
- *水道の使用時は、蛇口を出過ぎないように調整し使用する。



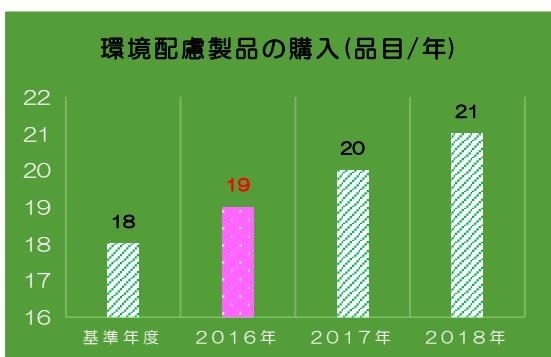
化学物質使用量削減の活動計画

- *個人の使用量の記入漏れを無くす。
- *管理票に基づいた確認・記入を徹底する。
- *責任者が鍵を保有し適正な管理・保管の徹底を行う。
- *災害時に流出を想定した訓練を行う。
- *災害時に流出をしない為の保管方法の徹底。



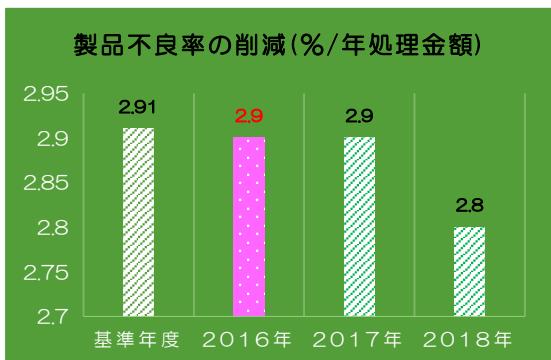
グリーン購入の活動計画

- *グリーン購入の推進。
- *事務用品の新商品などエコ商品を購入する。
- *年間 38 品目購入目標。



環境配慮製品の購入の活動計画

- *社内備品の見直し。
- *社内備品年間 19 品目購入。
- *社内備品買い替え時には環境に配慮した製品を購入する。



本業に関する継続的な環境改善 (製品の不良率削減の活動計画)

- *丁寧な処理をし修正を無くす。
- *修正の随時報告を徹底する。
- *類計表に洩れなく記入する。
- *不良品発生時には、作業ミス報告書に記入し速やかに報告する。
- *作業ミス報告書を集計し会議にて是正案・改善策を検討し再発の防止に。

今年度の環境目標と実績

環境負荷項目／年度	基準年度	目標	実績	達成状況
	二酸化炭素排出量(kg-CO2年)電気	96,532	86,879	
	2014年度基準(%)	100%	90%	
	二酸化炭素排出量(kg-CO2年)ガソリン	5,741	5,454	
	2014年度基準(%)	100%	95%	
	廃棄物排出量(t/年)	5.59	2.83	
	2014年度基準(%)	100%	51%	
	特別管理産業廃棄物排出量(t/年)	60.67	54,603	
	2014年度基準(%)	100%	90%	
	水道水使用量(m³/年)	1,305	914	
	2014年度基準(%)	100%	90%	
	化学物質使用量実績(kg/年)	1,305		
	徹底管理	○	○	
	グリーン購入(品目/年)	29	38	
	2014年度基準(%)	100%	130%	
	環境配慮製品の購入(品目/年)	18	20	
	2014年度基準(%)	100%	111%	
	製品不良率削減(%/年処理全体)	2.91	2.04	
	2014年度基準(%)	100%	70%	

*CO2 排出係数は、平成 26 年度(2014 年)東京電力㈱の実排出係数 0.505 kg-CO2/kwh を使用しました。

*特別管理産業廃棄物は、処理委託（フィルターなどクロム付着物）・クロム酸廃液・アルカリ廃液の総計です。

*化学物質は、無水クロム酸・HEEF25R・HEEF25MS・クロム 500 溶液・ディップソールの総計です。

環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

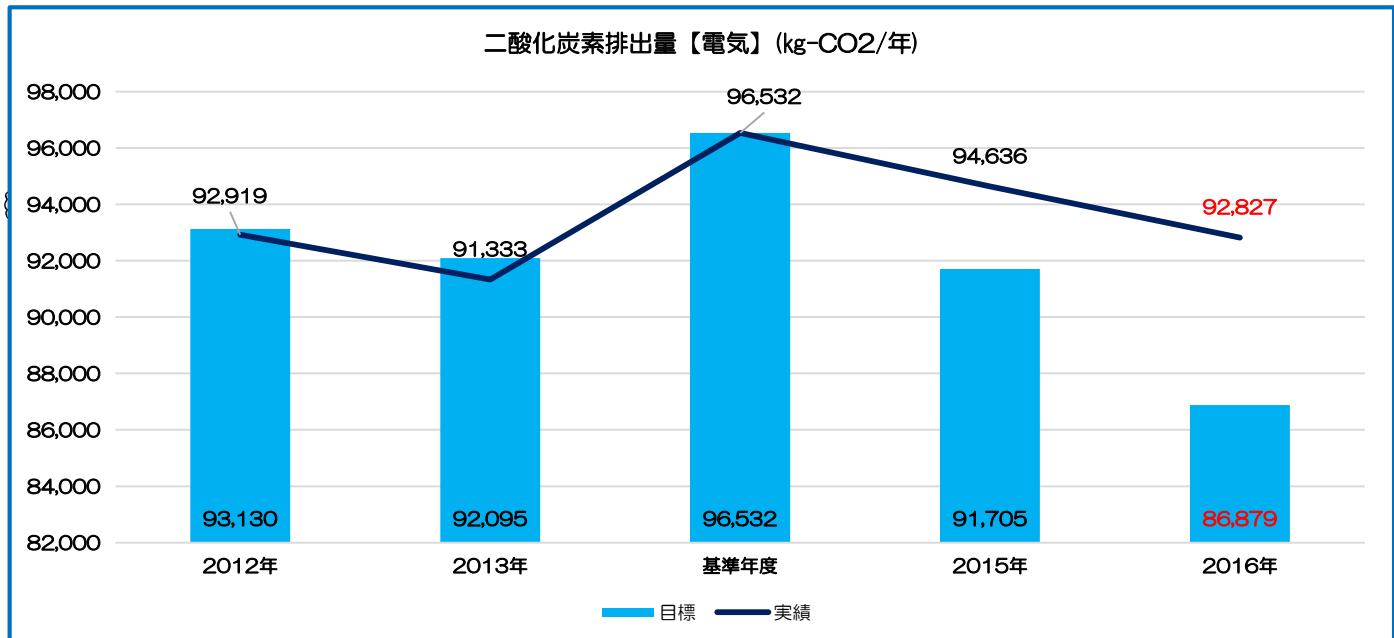
当社に適用される主な環境関連法規は下記の通りで、これらへの違反はありませんでした。

なお、関係当局より違反等の指摘は、過去 3 年間ありませんでした。

適用環境関連法規等	適用される事項 (事業活動・施設・物質など)	遵守状況の確認・評価
廃棄物処理法	多量排出事業者	報告書提出・マニフェスト管理
北区廃棄物条例	事業系一般廃棄物	事業系廃棄物シール使用
毒物及び劇物取扱法	無水クロム酸など	届出確認・表示板設置
東京都環境確保条例	工場認可・表示板設置	現況届提出・表示板等確認
東京都環境確保条例	化学物質適正管理	届出提出
下水道法	ワコンナーなど	設置届・変更届など提出
水質汚濁防止法	有害物質使用特定施設	届出提出
土壤汚染対策法	電気めっき施設	申請書提出



二酸化炭素排出量（電気）



*CO₂ 排出係数は、平成 26 年度（2014 年）東京電力(株)の実排出係数 0.505 kg-CO₂/kwh を使用した。

環境活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の削減(電気)			
照明器具の清掃（年 2 回）	◎	予定通りに実施出来た	全取組を継続して実行する。なお、次年度は、最大需要電力を確実に 70KW 以下を目指しデーターに基づき電力の使用方法を検討し取り組みを実施していく。また、夏季にはグリーンカーテンの栽培も実施し外観の涼しさや壁面緑化の取組も継続して実施する。
給湯器の夜間・休日の停止	◎	チェックリストを作成し実行できた	
空調機等のフィルターの定期清掃	◎	清掃月を指示し実行できた	
ドライヤーの無駄な使用はしない	△	一部を除き実行出来た	
最大需要電力 70Kw 以下を目指す	×	データー測定のみの実施でした	
トイレの便座の蓋を閉める	◎	ポスターを貼り、実行できた	
使用状況に応じたスクラバーの排気	◎	状況把握に努め実行できた	
グリーンカーテンの実施	◎	実行出来た	

◎・・・実行できた

△・・・ほぼ実行できた

×・・・実行出来なかった

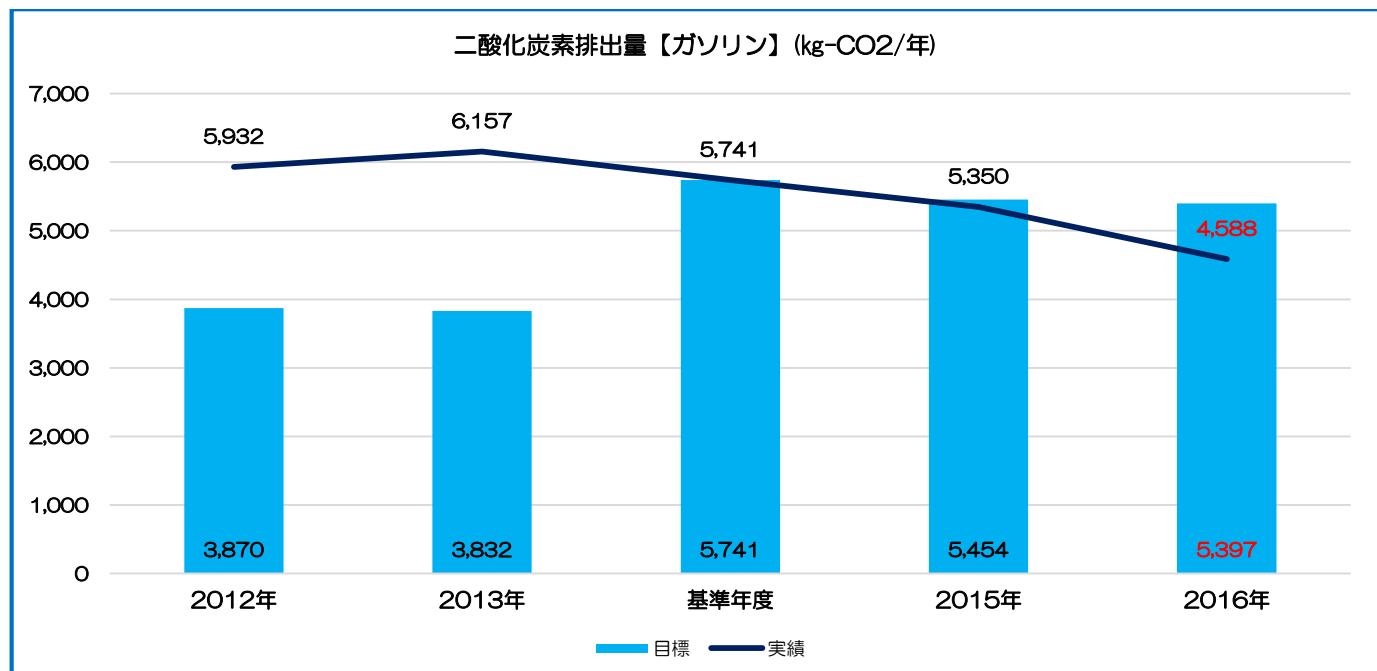
二酸化炭素排出量（電気）

全体評価として目標達成出来ませんでしたが、達成率 94%で前年度比 5%削減出来ました。なお、電気使用料金は 20%削減出来ました。東京電力(株)の毎年の基本料金により使用料金に大きな差が出たことに驚きました。





二酸化炭素排出量（ガソリン）



*排出係数は、0.0671×34.6 kg-CO₂ を使用した。

二酸化炭素排出量の削減(ガソリン)

公共の交通機関を進んで使用する	◎	営業活動ルートを決め実行した	全取組を継続して実行する。なお、エコドライブ 10 力条の熟知に加え社用車にエコドライブのステッカーを貼るなど更なるアピールもしていきたい。
タイヤ空気圧の定期的確認・適正值保持	◎	実行できた	
エコドライブ運転の励行	◎	実行できた	
営業活動は効率良く移動する	◎	実行できた	
エコドライブ 10 力条の熟知	×	熟知までは至らなかった	

◎・・・実行できた

△・・・ほぼ実行できた

✗・・・実行出来なかった

二酸化炭素排出量（ガソリン）

目標達成出来ました。削減率は 80%。次年度も確実に取組を実施し更なる削減に努めたい。

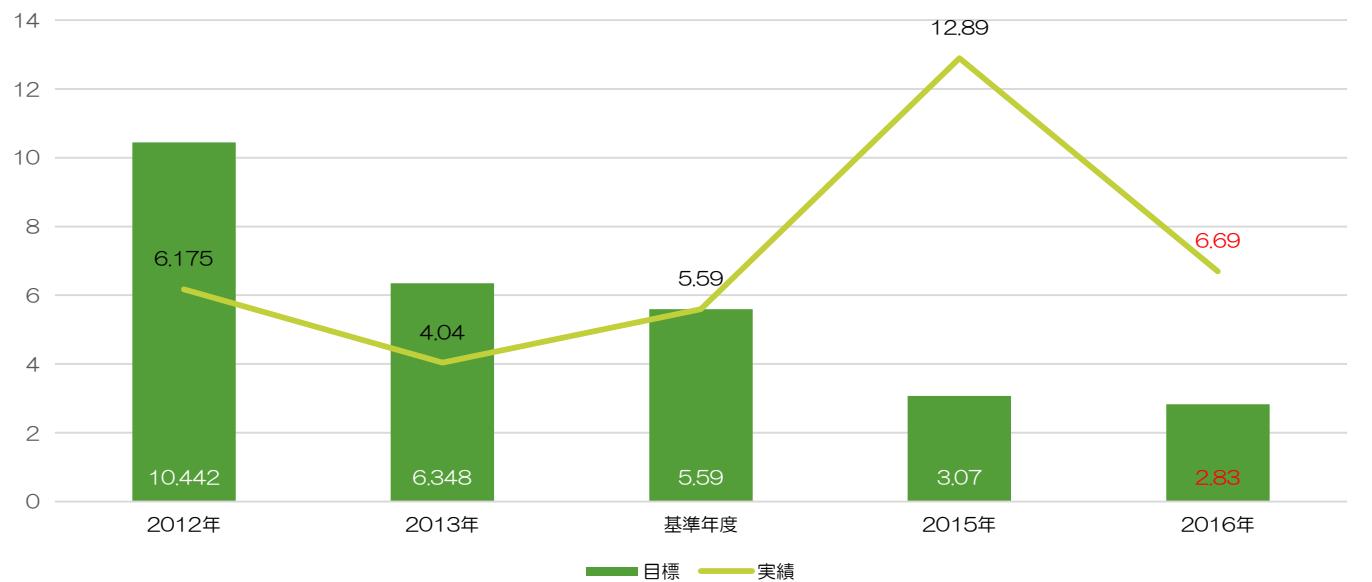




産業廃棄物排出量



産業廃棄物排出量 (t/年)



環境活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
一般・産業廃棄物排出量の削減			
各個人が責任を持って分別の徹底	△	ほぼ実行出来たと思われる	全取組を継続して実行する。清掃活動の日と時間を決めて全従業員で取り組みを実行する事によりゴミの排出量が増加したと思われる。清掃活動を継続しながら週1回のゴミ出しを徹底する。なお、次年度は、コピー用紙の使用枚数の記録も行いたい。また、次年度以降の目標の改めも必要と思われる。
マニフェストに基づいた徹底管理	◎	確実に実行できた	
使い捨て製品の購入の抑制	×	実行出来ていない。更なる努力が必要	
4S（整理・整頓・清潔・清掃）の実施	△	ほぼ実行できている	
廃棄物は極力小さくして廃棄する	×	実行出来ていなのが見受けられる	
コピー用紙の使用枚数を記録する	×	実行出来ていない	
ゴミ出しは週1回	×	週2回はゴミを廃棄している	
使用出来る物は極力限界まで使用	△	ほぼ実行できている	

◎・・・実行できた

△・・・ほぼ実行できた

×・・・実行出来なかった

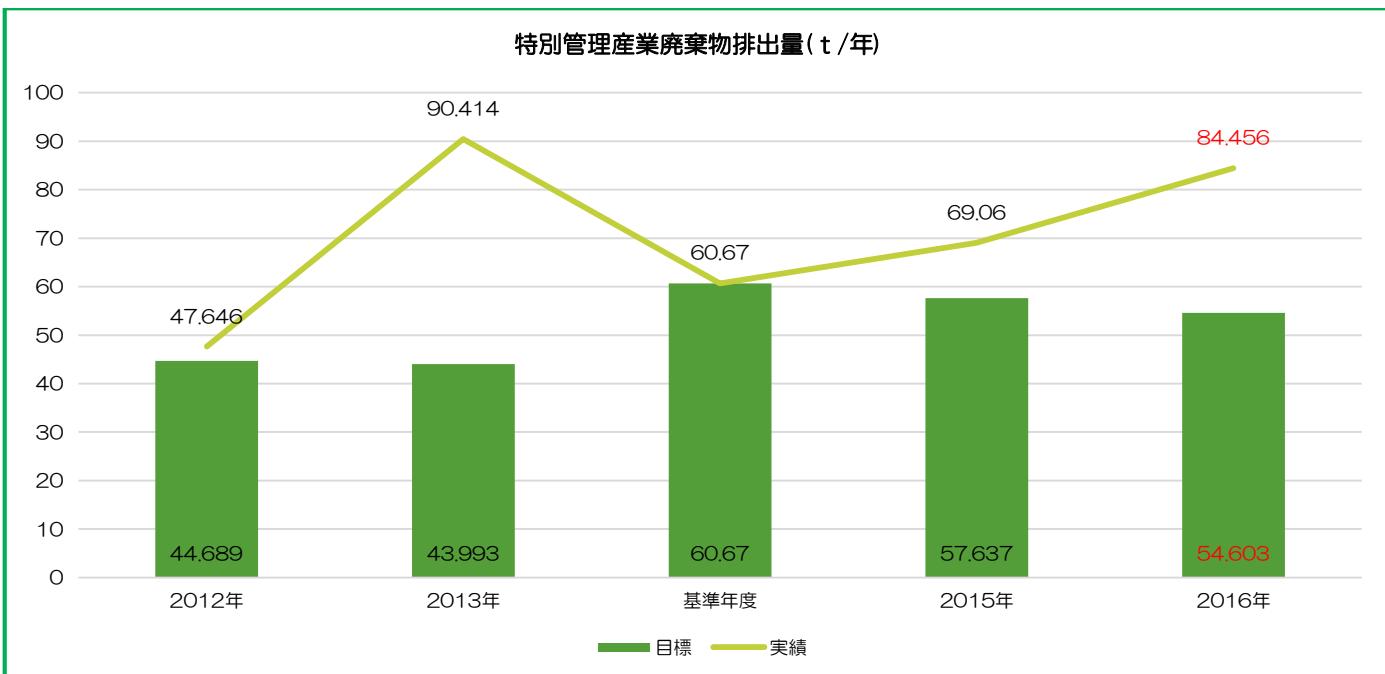
産業廃棄物排出量

目標を達成出来ませんでした。排出量の割合では、一般廃棄物が、約120%で増加しました。産業廃棄物は139%で、大幅に増加しました。増加した要因としてゴミ出しの回数が増加した事や小さくして廃棄していないことが増加の原因と思われる。次年度は、取組を徹底し削減に努める。





特別管理産業廃棄物



環境活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
特別管理産業廃棄物排出量の削減			
マニフェストに基づいた適切な処理徹底	◎	実行できた	全取組を継続して実行する。特別管理産業廃棄物(廃液)の廃棄量は売上向上に伴い多くなった。なお、品質向上の為に交換時期を短く設定したので排出量が増加した。徹底管理に重点を置き取り組んでゆきたい。
交換時期の的確な判断を行う	◎	実行出来た	
保管時の徹底管理	◎	実行出来た	
分別した廃棄物は極力小さくする	△	ほぼ実行出来たがあと一歩	
使用出来る物は極限まで使用する	◎	実行出来た	
最終処分場の現地視察の実施	◎	実行できた	

◎・・・実行できた

△・・・ほぼ実行できた

×・・・実行出来なかった

特別管理産業廃棄物排出量

目標達成できず。排出量の割合は、処理委託 74%、クロム酸廃液 125%、アルカリ廃液 166%といずれも増加した。売上向上と品質向上の為に交換期間を短くしたことが増加した大きな要因と思われる。

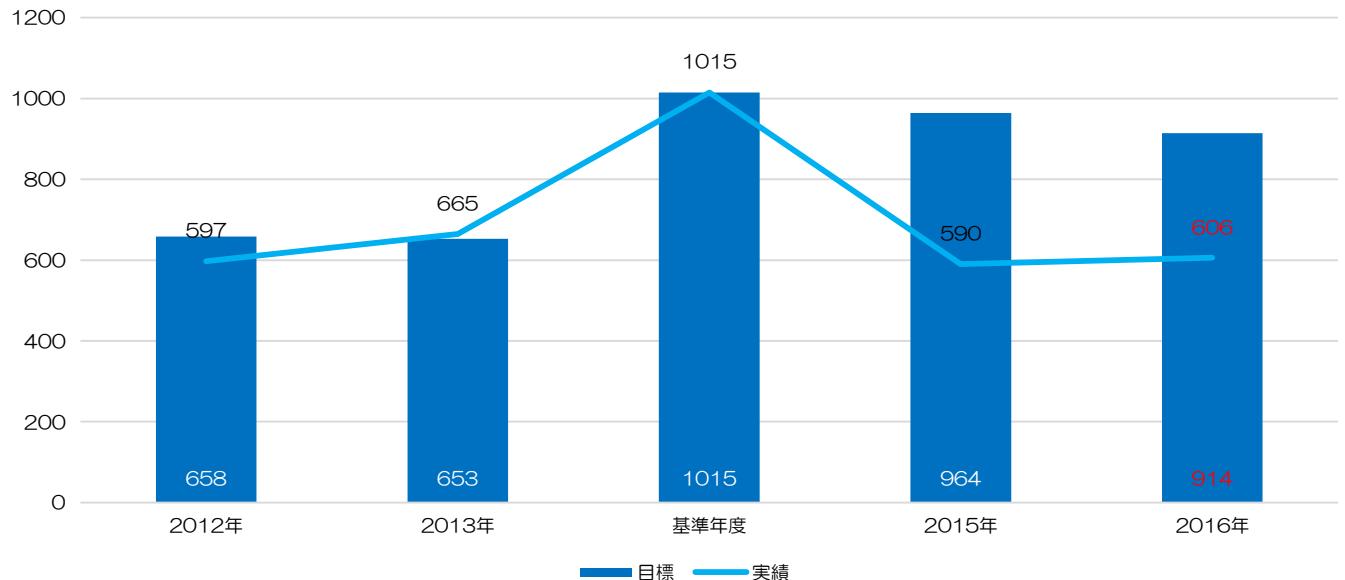




水道水使用量



水道水使用量(m³/年)



環境活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
水道水使用量の削減			
洗濯洗剤は、すすぎ1回用を使用	◎	実行できた	全取組を継続して実行する。次年度も今季同様削減に取り組み更なる削減を目指すべき取り組みを実行する。
蛇口調整をし出過ぎない様に使用	◎	実行出来た	
無駄遣いしている人へ注意する	◎	実行出来た	

◎・・・実行できた

△・・・ほぼ実行できた

×・・・実行出来なかった

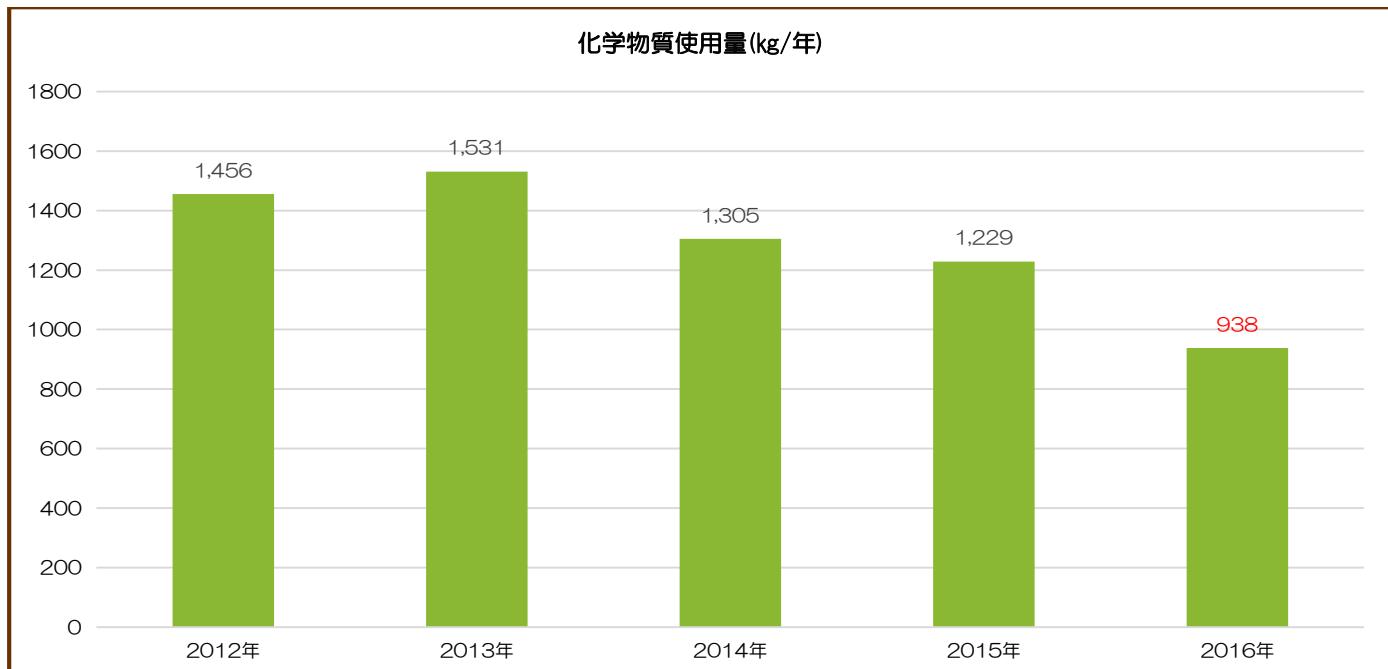
水道水使用量

目標達成できた。削減率は46%。次年度も更なる削減を目指し取り組みを実行する。





化学物質使用量



環境活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
化学物質使用量の削減			
個人の使用量の記入漏れをなくす	△	記入漏れが未だに見受けられる	全取組を継続して実行する。取扱い・保管の徹底。各個人の使用量報告の厳守。使用量・入庫量・在庫量の一致の厳守は、実行出来ている。今年度は新しい保管庫を購入し酸・アルカリの分別をした。
管理表に基づいた確認・記入徹底	◎	実行できた	
責任者が鍵を保有し保管庫の施錠の徹底	◎	実行できた	
MSDSに基づく使用・保管の徹底	◎	実行できた	
保管庫の整理整頓の徹底	◎	実行できた	

◎・・・実行できた

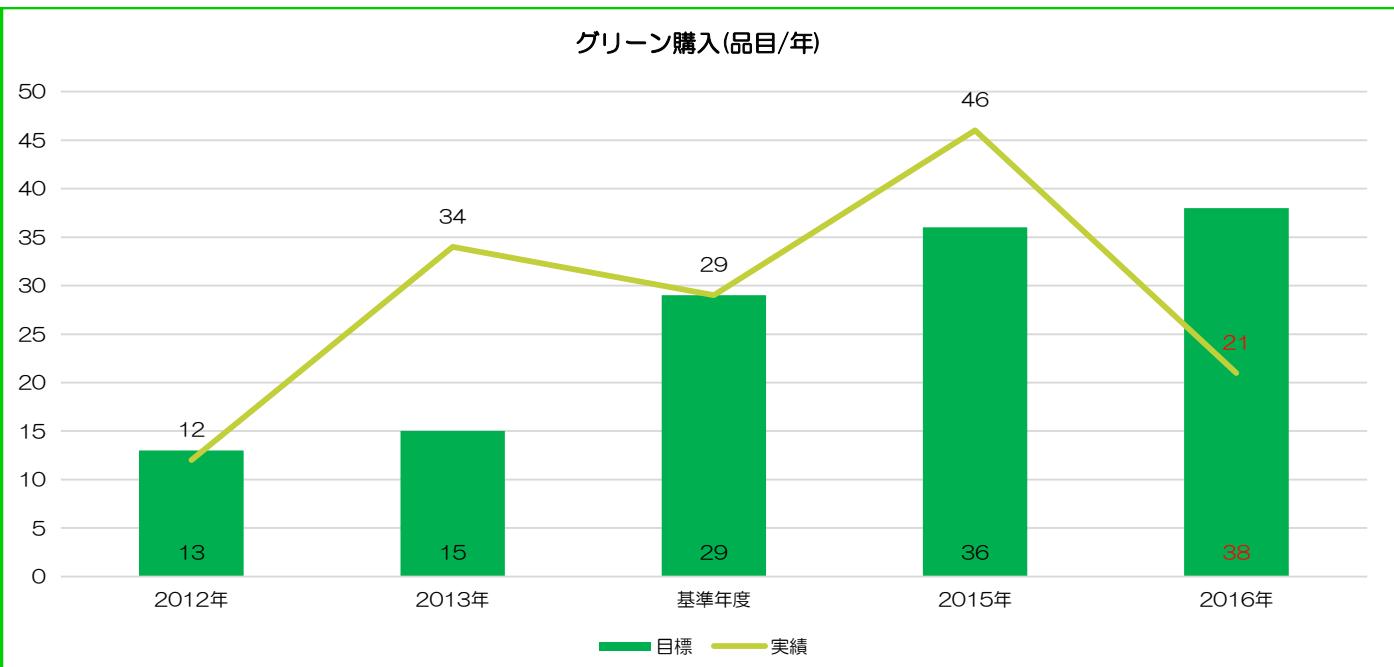
△・・・ほぼ実行できた

×・・・実行出来なかった

化学物質使用量

使用量の割合は、無水クロム酸が 758 kg、ディブソールが 74 kg、HEEF25R が 12 kg HEEF25MS が 44 kg、クロム 500 溶液が 50 kg でした。使用量の把握・徹底管理とも実行出来ました。また、保管庫を 2 台購入し酸とアルカリの保管を別にしました。





環境活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
グリーン購入			
グリーン購入の推進	◎	実行できた	全取組を継続して実行する。今年度は購入数量が減少し文具の節約になり経費は削減出来た。
事務用品の新商品等工コで購入	×	実行できなかった	
グリーン購入方針に基づいて購入する	◎	実行できた	
備品や現場で使用する備品の見直し	◎	事務用品は100%の割合で購入	
年間38品目購入	◎	実行できなかった	

◎・・・実行できた

△・・・ほぼ実行できた

×・・・実行出来なかった

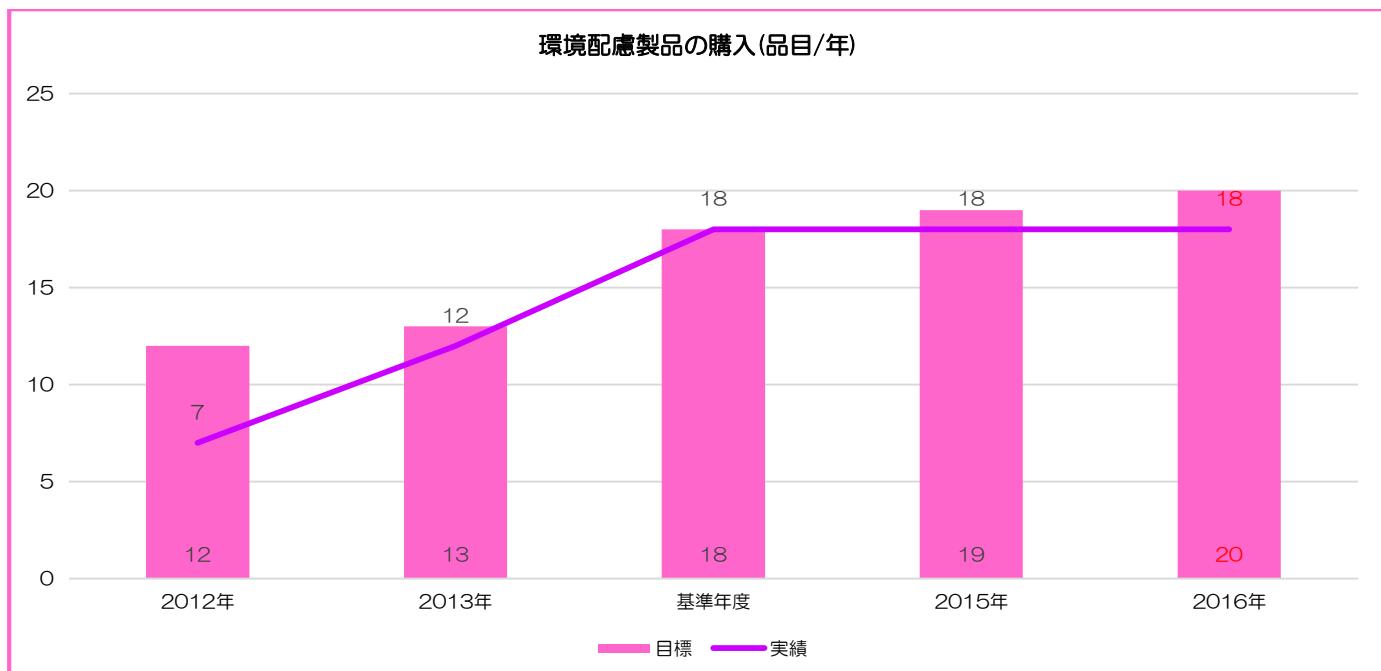
グリーン購入

今年度は、決まった文具の購入のみのとどまり、増加には至らなかった。文房具品の経費は大幅に削減出来た。次年度は、経費を削減しながらのグリーン購入に取り組みたいと思います。





環境配慮製品の購入



環境活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
環境配慮製品の購入			
社内備品の見直し	△	ほぼ実行出来た	全取組を継続して実行する。購入する製品を検討し増加に努める。また、セミナー等を活用し社内の取り組みに活用できる事は上手く活用し増加に努める。
講習会やセミナーを活用し購入数増加	×	実行できなかった	
リサイクル製品の見直し	×	実行できなかった	
年間 20 品目購入	×	18 品目購入	

◎・・・実行できた

△・・・ほぼ実行できた

×・・・実行出来なかった

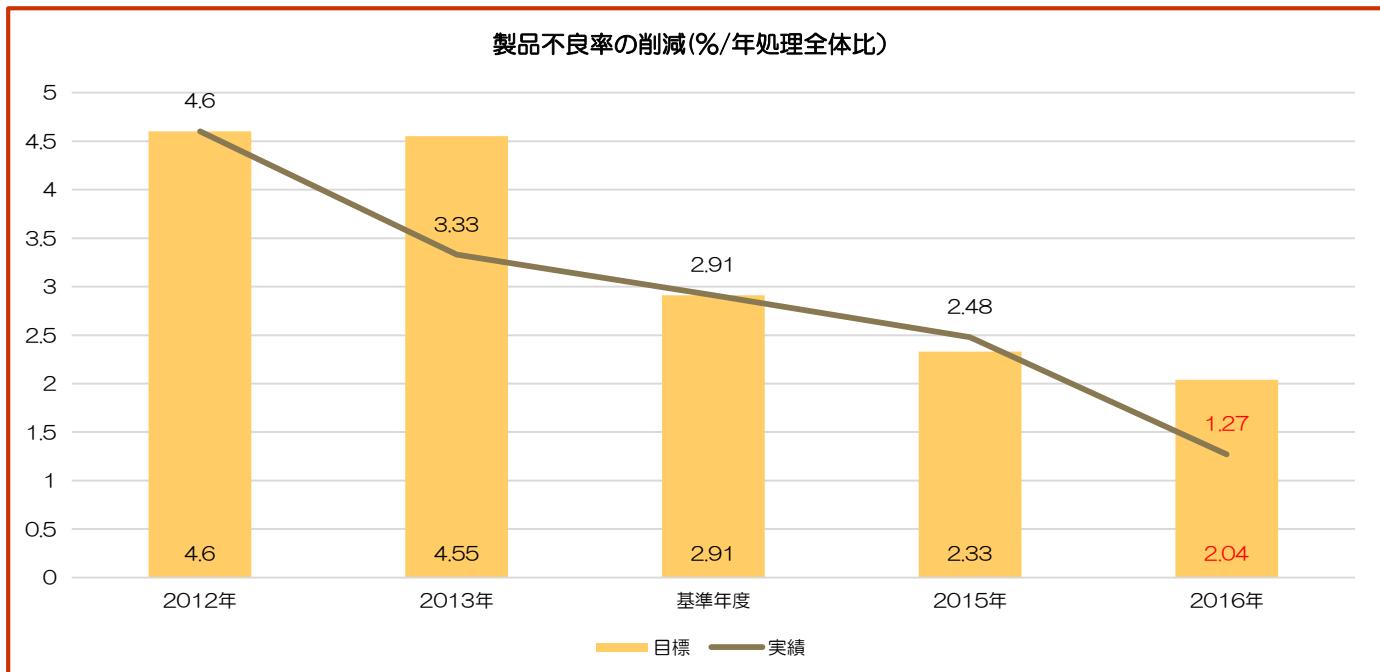
環境配慮製品の購入

目標を達成する事は、出来ませんでしたが基準年度から同数の購入数で維持しています。購入数量を増加する為にセミナーやインターネットを上手く活用して取り組みを実行していきます。





本業に関わる継続的な環境改善（製品不良率の削減）



環境活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
本業に関わる継続的な環境改善（製品の不良率削減）			
丁寧な処理をし修正を無くす	△	多少削減は出来ているが修正はある	全取組を継続して実行する。全従業員で更なる意識の向上を図り修正品ゼロを目指すと共に図面の確認などレベル向上を行う。
修正発生時は随時報告を徹底する	△	ほぼ実行出来た	
類計表に洩れなく記入する	△	ほぼ実行できたが、徹底させていない	

◎・・・実行できた

△・・・ほぼ実行できた

×・・・実行出来なかった

本業に関わる継続的な環境改善 (製品不良率の削減)

目標を達成出来ましたが、数字での評価が難しいところもあり、次年度は、件数と金額で把握し修正ゼロを目指し更なる削減に取り組む。



代表者による全体の評価と見直し

項目	評価	見直し
	二酸化炭素排出量 トータル的に見ると削減出来ているが、目標は達成する事が出来なかった。	売上を向上させながらでも莫大な増加にさせない様に取り組みを実施する
	廃棄物排出量 大幅に増加した。一般廃棄物・産業廃棄物共に増加した。	今一度初心に戻り削減への認識を高め結果を出していく。
	特別管理産業廃棄物排出量 全体的に増加した。売上向上・品質向上のためと思われる。管理は徹底されている。	向上させながらの削減は難しい。 管理の徹底に重点を置く。
	水道水使用量 大幅に削減した。	引き続き取組を実行する。
	化学物質使用量 今年度より目標を使用量の把握・徹底管理に変更。確実に実行されている。	引き続き取組を実行する。
	グリーン購入 購入数が少なく減少した。	引き続き取り組みを実行する。
	環境配慮製品の購入 2014年から横ばいの購入数です。	引き続き取り組みを実行する。
	製品不良率削減 削減した。	次年度より目標を改め不良発生率ゼロに向けて取り組みを実行する。

1年間の運用期間を振り返ると、売り上げが向上したが電気使用量は前年度比5%削減出来、電気使用料金は20%の削減でした。今まで、いかに無駄に電気を使用していたかが明確になった。

社内で、効率の良い仕事をして品質向上を目指し、得意先に貢献できるかを皆で話し合い実行した結果が出たと思います。

当初、エコアクション21の取組は、中堅クラスの者がリーダーとなり実行を始めましたが、今では社内全体の仕事の中心が中堅クラスの者が役割を担っており、上手く効率の良い仕事の流れが出来ていると 思います。

まさに、エコアクション21は、経営管理システム！！
次年度は、更なる売上・品質向上・環境経営に取組み結果を出してゆきたいと思っております。



第一化学工業株式会社
代表取締役 泉 三弘

第一化学工業株式会社の主な取り組み・環境活動



見える化の実施！

全従業員が必ず目に付く食堂に各目標と実績をグラフにして張り出したり、各部署に環境方針を掲げ全従業員の取組に対する認識向上を図っています。また、節電・節水など色々な場所へステッカー等を貼り意識を高めています。



二酸化炭素排出量の削減・活動



人感センサー。コンセントタイマーと併用し必要な時間帯だけ作動。



トイレにも設置

トイレの低温厳守や蓋を必ず閉める。

小さな取組から削減！



デマンドコントローラーを設置し最大需要電力を削減、更なる削減に向けマイクロハイコードを設置し記録中！！

西日が当たるシャッターの内側に引き扉を新たに設置、室内温度が下がった。次年度は更に遮光シートを検討。



2012年5月

エコカー購入

各所の全スイッチに【節電】ステッカーを貼ったり、トイレの便座に【低温厳守】【便座の蓋は閉める】等のステッカーを貼り小さな事でも出来る事から取組を実行。現場の蛍光灯のエアースイッチをプラスイッチへ変更し削減に努めています。

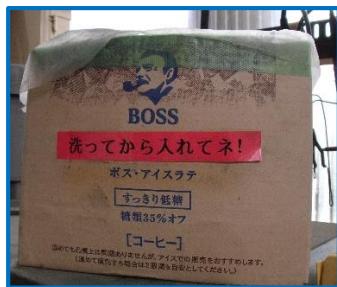
廃棄物排出量の削減・活動



分別するゴミ箱を増やしました。なお、コピー用紙は両面使用後にシュレッターし梱包材として再利用！！



化学物質が付着した廃棄物は、分別を更に徹底し委託業者へ引き渡すまで、厳重に保管。



弊社のペットボトルのキャップ入れです。エコキャップ運動とし、貯まつたら近隣の小学校へ持参し発展途上国の子供達のワクチンになるそうです。

特別管理産業廃棄物最終処分場の現地視察 *毎年1回は必ず最終処分場へ視察してます。



今年は中間処分場と最終処分場へ視察に行ってきました！！

2016年7月27日（水）長野県にあるイコールゼロ㈱と飯山陸送㈱ハサマ処分場にお邪魔しました。



中間処理場のイコールゼロ㈱では弊社から出る廃棄物の処理過程を見学させて頂きました。飯山陸送㈱でも最終処分の処理現場を見学しました。

化学物質使用量の削減・徹底管理・活動



化学物質の使用量の削減は、不良製品の再めっきや修正等を減らし、更に過剰めっきにならない様に膜厚管理が重要です。また、その保管方法にも重点を置き取組を行っています。化学物質の保管庫の鍵は責任者が保管し使用する人が必ず責任者の承諾を得てから使用。保管庫も二重に施錠し、転倒防止策も行っています。また、化学物質を補充の際には個人表に記入の徹底。購入の際にも責任者の許可を得てから購入しています。

水道水使用量の削減・活動



社内の全水道に【節水】ステッカーを貼つた。なお、出し過ぎで使用している人がいた場合、声掛けをし出し過ぎないで使用するように取組を行っています。



今では当たり前となつた、すすぎ1回用洗剤

「小便は小で流しましょう」確認出来ませんが…



【ワコンナー！！】

排水クローズド・システムを採用。
工場内で使用する水をイオン交換樹脂塔で有害物質を完全に除去して純水に変え工場に戻し再利用。3週間に1度の頻度で再生・交換。

環境配慮・その他の活動



【社屋の上にスクラバー設置！！】

工場内の有害ガスを排風機で屋上へ吸い上げ、
ガス洗浄装置で取り除き無害・無臭のきれいな状態にして大気に放出しています。
半年に1度の頻度で洗浄・廃液を行います。



毎朝の清掃！！！近隣の皆様へ「おはようございます。」と、元気良く笑顔で挨拶。周辺地域との繋がりも大切にしています。

平成 27 年度「北区きらりと光るものづくり顕彰」きらめきの技人部門受賞

区内の優れた企業活動・技能・技術などを顕彰し、北区の「ものづくり」の素晴らしいを広く内外にPRすることを目的とした【北区きらりと光るものづくり顕彰】にて、きらめきの技人部門の受賞をしました。



「北区きらりと光るものづくり顕彰」授賞式

日時：平成 28 年 2 月 10 日

場所：北とびあ

東京都北区長の花川與惣太氏より授賞企業・授賞者へ授与が執り行われ、授賞式の後は、懇親会が開かれ授賞企業との振興も深まりました。

日刊工業新聞に掲載されました。



第一化学工業株式会社 北区商工通信「新しい風」



左側は、No.83
右側は、No.100

第一化学工業株式会社に「サラメシ」が来た！！！

中井貴一さんの軽妙なナレーションで人気がある「サラメシ」の取材を受けました。

放送は、2017年2月28日（火）NHK総合 午後8時15分より全国放送された。

【働くおとなの昼ごはん】と題して全国津々浦々で働く様々な職業の人の昼ご飯を取り上げ、それにまつわるエピソードを紹介する番組で、映像とナレーションでめっきについてとても分かり易く説明している。55年間第一化学工業(株)働き仕上げをチェックするめっき一筋の常務には冬に欠かせない作業がある。それは、白菜漬けを作る事で、もともとは今は亡き堀内さん（検品を担当していた女性）が、働くみんなの為に作ったもので、昼時「何か足りないね」という皆の声を耳にし、堀内さんの作り方を見ながら覚えていた常務が作る事になった。白菜を割り塩をすり込み昆布と唐辛子、柚子を入れ3日間ベランダで寝かせる。野菜・豚肉たっぷりの豚汁も常務が作る。週1度の割合で温かい豚汁と白菜漬けがテーブルに並ぶ。各自が用意したお昼ご飯と一緒に食べれば、お腹も心も満ち足りて午後からの作業がはかどりそうだ。

上記に書いたような内容で放送され、得意先・ご近所・各方面より沢山の反響があり、テレビの影響力のすごさにビックリしました。



エコアクション21の取り組みを始めて7年になりますが、エコアクション21・環境経営システム運営が実になりつつあることを実感する年度でした。

まだまだ、取り組む目標はたくさんあり、問題点もありますが、日々の積み重ねや教育が確実に結果として表れ社内全体の体制が構築されてきたように思います。

エコアクション21は、全従業員で取り組まなければなりません。

全従業員で何かをする事は日々の会社運営ではなかなか無いように思います。

全従業員一丸となり、ひとつの目標に向かい実行する事でまとまりが出来、社内の雰囲気も良い意味で変化しました。

先日も、NHKで放送された「サラメシ」を見て頂いた方から「アットホームな雰囲気で理想の会社ですね」と多くの方が同じような感想を述べていました。うれしい事です。

それも、これも、エコアクション21の取り組みを始めた事がきっかけで、社内が良い方向へ向かったと思っています。今後も、全従業員が一丸となり更なる取り組みを実行してゆきます。



ご覧いただき、ありがとうございました。

次年度も、色々な事に挑戦し環境・皆様に少しでも
貢献できる企業を目指し活動してゆきます。

また、お会い致しましょう。